【消費生活の窓口から】

配置薬の補充だけのはずが…高額な健康食品を買うはめに

～高齢者の消費者トラブルは周囲の見守りが重要です！～

配置薬を補充する定期訪問の際に、高額な健康食品を勧誘されたという相談が全国的に寄せられています。安くしてもらったと思ったら、実は「分割払い」や「定期購入」になっていた、という話も出ています。昼間に高齢者だけになる家庭では、特に注意が必要です。

〈事例〉一人暮らしの母は20年以上前から配置薬を使用し、約3カ月ごとに訪問を受けていた。先日、今までとは別の担

当者が来た。常備薬の補充の後、1瓶約4万円もするサプリメントの勧誘を受け、断っても「10回払いにすればい

い」と言われ、配置薬補充代金とは別に、約3千円を借金されたようだ。（当事者：70歳代 女性）

【アドバイス】

◆不要ならきっぱり断りましょう。

◆できれば一人では対応せず、家族など周りの人に同席してもらいましょう。

◆家族など周りの人は、高齢者の家に頻りに訪問してくる人がいないか、家の中に多量の未開封の品物や不明な契約書がないかなど、日ごろから気を配りましょう。

◆困ったときは、消費生活相談窓口か消費者ホットライン^{いやや}188（局番なし）に相談しましょう。家族や周りの人が相談する場合は、できるだけ本人から詳しく話を聞きましょう。

※出典：国民生活センターホームページ「[配置薬の補充だけのはずが…高額な健康食品を買うはめに（PDF）](#)」

※ご相談・お問い合わせ先

中山町消費生活相談窓口（住民税務課 住民G内） ☎662-2593